

久次智雄名誉教授記念号の発刊にあたって

学長 山 田 家 正

このたび、商学討究第44巻第1・2合併号を発刊するにあたり、長年本学の発展に尽くされた小樽商科大学名誉教授久次智雄先生のご業績を讃え、本号を「久次智雄名誉教授記念号」とすることになりました。

先生は昭和48年ご着任以来約20年間に亘り経済学科数理統計学、統計学担当教授として、また昭和56年からは大学院担当教授として学生の教育に情熱を傾けられました。また研究面では標本調査理論をはじめ統計学に関する幅広い領域に亘って優れた著書、論文を多数発表しておられます。なかでも昭和50年に出版された「演習統計概論（森田優三氏との共著）」は統計学を学ぶ学生にとってはバイブル的名著であり、ベストセラーでもありました。

先生は平成4年3月に本学をご退官になり、同年4月に小樽商科大学名誉教授の称号が授与されました。ややご健康を害しておられましたが、最近はお元気になられ、小樽のご自宅で「演習統計概論」の再版原稿を執筆しておられる由伺っております。

先生は東京大学理学部数学科をご卒業と同時に総理府統計局に勤務され、内閣総理大臣官房参事官兼総理府統計局調査官を経て本学教授に迎えられました。類稀な数学的能力が専門領域で発揮されたことはいうまでもないことですが、大学運営、とりわけ入試、予算編成等においてもその才は遺憾なく発揮されました。学内予算配分に関するいわゆる「久次方式」はその最たるものであります。また計算センター室長としてセンター運営にも力を注いで頂きましたが、人格識見の優れた先生のお力もあって計算センターは現在情報処理センターとして充実しつつあります。

この記念号が、久次智雄先生の小樽商科大学に対する長年のご貢献にいささかなりとも報いるものになることを念じつつ発刊のご挨拶と致します。